

2024年度 長岡崇徳大学 一般選抜(I期) 「数学I・A」 解答例

□1 次の問いに答えよ.

(1) 次の式を展開せよ.

$$(x^2 + 3x + 2)(x^2 - 3x + 2)$$
$$(x^2 + 3x + 2)(x^2 - 3x + 2) = \{(x^2 + 2) + 3x\}\{(x^2 + 2) - 3x\}$$
$$= (x^2 + 2)^2 - (3x)^2 = x^4 + 4x^2 + 4 - 9x^2 = x^4 - 5x^2 + 4$$

(2) 次の式を因数分解せよ.

$$x^2 + ax - 4a - 16$$
$$x^2 + ax - 4a - 16 = x^2 + ax - 4(a + 4) = (x - 4)(x + a + 4)$$

□2 $x = \frac{1}{\sqrt{5}+2}$, $y = \frac{1}{\sqrt{5}-2}$ のとき, 次の値を求めよ.

(1) $x + y$

$$x + y = \frac{1}{\sqrt{5}+2} + \frac{1}{\sqrt{5}-2} = \frac{\sqrt{5}-2 + \sqrt{5}+2}{(\sqrt{5}+2)(\sqrt{5}-2)} = 2\sqrt{5}$$

(2) xy

$$xy = \frac{1}{\sqrt{5}+2} \times \frac{1}{\sqrt{5}-2} = \frac{1}{(\sqrt{5}+2)(\sqrt{5}-2)} = 1$$

(3) $x^2 + y^2$

$$x^2 + y^2 = (x + y)^2 - 2xy = (2\sqrt{5})^2 - 2 = 20 - 2 = 18$$

□3 12%の食塩水 500g がある. そこに 4%の食塩水を加えて混ぜ合わせ, 8%以上 9%以下の食塩水を作りたい. 4%の食塩水を加える量の範囲を求めよ.

4%の食塩水の量を x g とすると, 濃度は次の式で求められる.

$$\frac{500 \times 0.12 + x \times 0.04}{500 + x} \times 100 = \frac{6000 + 4x}{500 + x}$$

8%以上より

$$8 \leq \frac{6000 + 4x}{500 + x}$$

$$8(500 + x) \leq 6000 + 4x$$

$$4000 + 8x \leq 6000 + 4x$$

$$4x \leq 2000$$

$$x \leq 500$$

9%以下より

$$\frac{6000 + 4x}{500 + x} \leq 9$$

$$6000 + 4x \leq 9(500 + x)$$

$$6000 + 4x \leq 4500 + 9x$$

$$1500 \leq 5x$$

$$5x \geq 1500$$

$$x \geq 300$$

よって、4%の食塩水を加える量の範囲は 300g 以上 500g 以下。

4 図のような直角三角形 ABC の各辺上に頂点を持つ長方形 BDEF を作る。このとき、次の間に答えよ。

(1) 長方形 BDEF の面積 S を x を使って表わせ。

BD の長さを y とすると

$\triangle ADE \sim \triangle ABC$ より

$$x : 4 - y = 2 : 4$$

$$4x = 2(4 - y)$$

$$4 - y = 2x$$

$$y = 4 - 2x$$

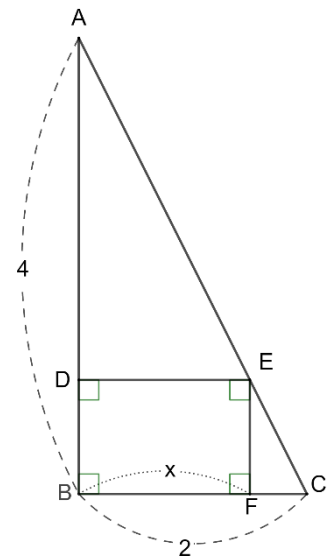
よって

$$S = (4 - 2x)x = -2x^2 + 4x$$

(2) 長方形 BDEF の面積 S の最大値を求めよ。

$$\begin{aligned} S &= -2x^2 + 4x = -2(x^2 - 2x) = -2\{(x - 1)^2 - 1\} \\ &= -2(x - 1)^2 + 2 \end{aligned}$$

より、 S の最大値は $x = 1$ のとき 2



5 放物線 $y = x^2 - 7x$ と直線 $y = x + k$ が接するとき、定数 k の値を求めよ。また、そのときの接点の座標を求めよ。

共有点の x 座標は次の 2 次方程式の実数解。

$$x^2 - 7x = x + k$$

$$x^2 - 8x - k = 0$$

この 2 次方程式の判別式を D とすると

$$D = (-8)^2 - 4 \cdot (-k) \cdot 1 = 64 + 4k = 4(16 + k)$$

放物線 $y = x^2 - 7x$ と直線 $y = x + k$ が接するのは $D = 0$ のとき

$$4(16 + k) = 0$$

$$k = -16$$

定数 k の値 $k = -16$

$x^2 - 8x - k = 0$ に $k = -16$ を代入

$$x^2 - 8x - (-16) = 0$$

$$x^2 - 8x + 16 = 0$$

$$(x - 4)^2 = 0$$

$$x = 4$$

$y = x + k$ に $k = -16$, $x = 4$ を代入

$$y = 4 - 16 = -12$$

接点の座標(4, -12)

□ $\triangle ABC$ において, $AB=7$, $AC=5$, $\angle A=120^\circ$ とする. $\angle A$ の二等分線と辺 BC の交点を D とするとき, 線分 AD の長さを求めよ.

$AD = x$ とすると

$\triangle ABC = \triangle ABD + \triangle ACD$ より

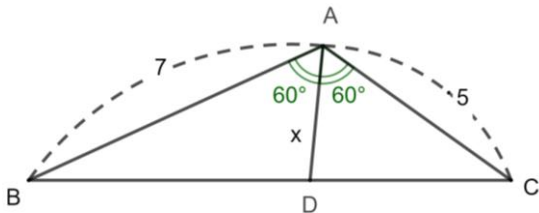
$$\frac{1}{2} \cdot 7 \cdot 5 \cdot \sin 120^\circ = \frac{1}{2} \cdot 7 \cdot x \cdot \sin 60^\circ + \frac{1}{2} \cdot 5 \cdot x \cdot \sin 60^\circ$$

$$35 = 7x + 5x$$

$$12x = 35$$

$$x = \frac{35}{12}$$

線分 AD の長さ $\frac{35}{12}$



□ 何人かの生徒にカードを配る. 1人4枚ずつ配ると9枚余るが, 1人6枚ずつにすると, 最後の生徒は3枚より少なくなる. このとき, カードの総数と生徒の人数を求めよ.

生徒の人数を x 人とすると

$$0 \leq 4x + 9 - 6(x - 1) < 3$$

$$0 \leq -2x + 15 < 3$$

$$-15 \leq -2x < -12$$

$$15 \geq 2x > 12$$

$$7.5 \geq x > 6$$

x は自然数より

$$x = 7$$

$$4 \times 7 + 9 = 37$$

カードの総数 37 枚, 生徒の人数 7 人

8 次のデータは人の生徒のテストの得点である. ただし, x は 20 以下の正の整数である.

5, x , 10, 8, 20, 12, 9, 16

(1) x の値がわからないとき, このデータの平均値の取りうる範囲を求めよ.

$$x \text{ 以外の合計 } 5 + 10 + 8 + 20 + 12 + 9 + 16 = 80$$

$$x = 1 \text{ のとき } 81 \div 8 = 10.125$$

($x = 0$ のとき $80 \div 8 = 10$ でも正解とする)

$$x = 20 \text{ のとき } (80 + 20) \div 8 = 12.5$$

平均値は 10.125 以上 12.5 以下

(平均値は 10 以上 12.5 以下でも正解とする)

(2) x の値がわからないとき, このデータの中央値として何通りの値があり得るか.

x 以外を昇順に並べる 5, 8, 9, 10, 12, 16, 20

$$x \leq 9 \text{ のとき } (9 + 10) \div 2 = 9.5$$

$$12 \leq x \text{ のとき } (10 + 12) \div 2 = 11$$

$$x = 10 \text{ のとき } (10 + 10) \div 2 = 10$$

$$x = 11 \text{ のとき } (10 + 11) \div 2 = 10.5$$

4 通り

9 10 円硬貨 4 枚, 50 円硬貨 3 枚, 100 円硬貨 2 枚, 500 円硬貨 1 枚のうち, 一部または全部を使って支払うことができる金額は何通りあるか.

50 円硬貨 2 枚を 100 円硬貨 1 枚に置き換える.

10 円硬貨 4 枚, 使い方 5 通り

50 円硬貨 1 枚, 使い方 2 通り

100 円硬貨 3 枚, 使い方 4 通り

500 円硬貨 1 枚, 使い方 2 通り

すべて 0 枚を除いて

$$5 \times 2 \times 4 \times 2 - 1 = 79$$

79 通り